

小精意日誌

昭和十四年  
八月六日

特別

14

1919

635

35

40

45

50



小幡彦日誌

昭和十四年八月以降

八月

四日

微雨相も去来、山の内は耳流午後雷雨降り流り  
 一週ハツハの思ひ出を流る夕刻又大雷雨あり、夜に入  
 り雨つと、まよひ英今法蘭の英ハ行届州を  
 毛沢東河魁と川龍とを言ふ我方必勝とぞ、英の  
 法平援助と修の二の軍と定とあみこるる



日本に回意する能はず、英亦六支の策不し、敢て決裂  
を好まず、あつてもか如く、支那の内訌も及、英、法、露、  
五、に熾へり、

五日

西、相、未、能、所、と、言、ふ、事、ハ、ハ、ハ、保、を、決、正、山、口、又、二、日、均  
先、方、報、城、の、報、集、を、取、成、り、賜、り、余、の、序、を、ぬ、り、是、を  
も、余、の、押、進、に、係、り、而、於、て、報、を、さ、す、る、花、作、集、を、  
讀、み、少、時、未、く、ラ、ジ、ス、を、通、し、中、心、正、則、英、の、外、交  
不、信、を、攻、む

榎原製

六日

日

今朝、数死者の遺児、全回し、出立、千紙、法、回、神社  
に、亡父の、遺、を、報、し、望、念、此、を、あ、り、と、賜、り、朝  
未、難、報、を、筆、す、輕、井、深、大、隈、居、り、未、也、児、昂、存、也、  
從、柄、宮、輕、の、從、九、十、九、十、九、納、入、進、科、送、五、味、四  
子、の、遺、治、療、の、為、り、未、く、寺、尾、元、居、り、存、念、是、也、  
二、訖、汝、其、を、送、り、未、く、余、の、投、稿、を、ぬ、り、書、物、展、望、  
二、擲、也、

七日



時、最後の原形(國)を刊行するの思ひ出と云ふは、房中村迄  
に投ず、又一紙の預金ニ云ふは、出股部来、前  
五万圓一時融通を依頼す、或依の地事、す、其  
地を後、又難好と事す、寺尾元彦、河志を  
日吳分活を、七英四、回訓来、多、其、く、過、く、祀  
り、り、う、じ、大、の、永、の、天、の、り、の、日、本、の、近、を、心、道、と、思、す  
日、法、境、を、轉、く、心、感、す、

八日

時、七月中に、稅、額、議、既、に、三、万、圓、均、分、し、り、も、尚、ほ、三、



十、餘、の、未、納、の、つ、き、由、早、又、出、股、部、と、事、所、金、融、五、万  
圓、借、入、と、此、頃、金、額、收、報、未、報、始、と、事、す、山、田、氏、心  
米、花、以、上、弘、義、月、報、診、血、壓、或、許、下、る、注、射、例、の、如、し  
午後、亦、此、件、の、地、事、す、其、地、事、河、志、の、心、事、  
の、市、物、の、心、事、も、金、の、地、事、す、其、地、事、河、志、の、心、事、  
後、河、志、の、心、事、す、

九日

時、五、秋、も、今、朝、も、秋、冷、を、多、く、山、田、氏、心、も、亦、出  
諸、稅、事、も、亦、在、其、地、事、す、其、地、事、河、志、の、心、事、



を兼す、全刻百の任及、行高す、預入の、杉根  
唐合、地方、増の義、と、未、夜、未、微、而、一、也、

十一日

而、今朝の朝日、報了、未、佛の、英、を、授、けて、法、幣、問、題、に、  
関し、入、入、を、申、出、せ、外、務、者、一、謝、す、と、是、入、入、を、申、出、す、と、  
干、渉、也、難、知、と、事、す、丹、兵、原、平、と、も、音、勢、見、義、の、  
一、出、利、未、和、田、英、と、も、事、出、日、英、合、法、矢、加、の、現、地、武、官、  
在、其、日、を、送、り、横、概、し、現、地、帰、還、の、名、を、法、し、英、使、  
に、強、硬、の、申、入、を、す、す、

榎原表

十一日

町、丹、兵、和、田、市、村、と、投、問、新、知、と、事、す、吉、田、祥、  
三、中、に、海、を、と、り、か、す、立、川、竹、為、代、刻、と、概、三、景、利、未、  
日、英、合、法、を、申、出、す、英、四、の、突、如、既、に、分、後、に、於、て、法、に、  
二、陪、拜、者、引、渡、し、を、地、部、に、送、り、支、を、す、と、一、方、的、に、表、出、し、  
日、本、の、事、と、七、氣、休、の、事、が、自、己、の、見、識、を、張、り、考、め、の、事、に、  
の、行、動、に、あ、る、前、政、策、の、新、議、数、の、連、續、し、し、の、事、が、當、り、  
決、定、に、あ、る、事、に、

十二日











十七日

晴、先王川へ遊く、島村氏屋へ酒を飲む、  
酒を肴と兼て、友人の囃せんと二杯、是時、  
淡古長女も、武王朝へ来た庭園を掃ふ、  
金三十四日、  
のり書係り、夜、入り、  
果。

十八日

晴、冷気、秋の如し、  
カ今此を何ぞと云ふ、  
果、能く、  
果。

櫻亭

全の御所を不日印刷會社に入社のも也、  
守長御所より更に早大校僕根日本深と云ふがハ  
リ、  
頼む、  
秋見宮妃亮去、  
死去

十九日

雨、日英會後、  
主務、







初勝を占すまじし慮心しにが只効を養せざりしはソ聯と物  
ことの間に不可侵條約締結せんに事定まらば英仏を宥懐さ  
せ、英人と為すよと知れしは、情結、集國を懐くはことの勢  
あり、或るくわいほうとソ聯の割譲する物もソソ對  
する條約ありや、ソ聯の防共協定何くる在る、ソ聯は  
東方の力を導きし得る、影響を受く本邦也、空軍又  
ソ機九十餘機、墜り墜るの勢あり

二十三日

明使伯仲、たつ来志、日華郵船、はつ徳方の通牒あり

櫻原製

於此を筆す、時、明使伯仲を以て、時を移す、板本嘉治  
馬一周忌に際し、遺族より四人自傳并に、たつ管内  
遺族、たつ板本、たつ一談を以て、たつ見よ、天津の、たつ空軍、たつ  
幕、たつ江地、たつ録、たつ民族、たつ沈、たつ上、たつ海、たつを、たつ推、たつて、たつ時、たつ致、たつせ、たつし、

二十四日

明使伯仲、たつ来志、たつ日華郵船、たつ徳方の通牒あり、  
馬の自叙伝を以て

二十五日















午近ハ日暮夜入病状遂ニ増敷リ部外出ツ、午後  
随筆の授合百五十頁、生ノ校一ツツと山房ニ授  
授す、市村宏（一）日、向全の地、書下五百頁と云  
ニ昔報（一）来、物軍、彼其の昔都ツレツと此日  
本報、ニヤルニ書者、

二日

二百十日

血不、明相、新報と書、市村宏と名、と云、  
の如、序と書、午後、増田義（一）、  
不、此地、受、印、の、も、を、保、囑、員、中央、公、論、就、七、年、性

榎原

一、成、の、榎、大、探、付、地、を、讀、む、明、田、の、政、更、す、の、シ、ブ、耳、油

三日

日

明、社、分、理、一、致、其、の、印、別、合、社、代、表、取、締、役、数、任、の、撰、抄  
秋、刊、の、神、田、を、扱、き、又、マ、ツ、サ、し、じ、を、始、む、と、云、ふ、の、喫  
向、と、云、ふ、五、味、虚、州、迄、耳、の、指、次、大、政、戦、と、報、す  
と、其、に、守、の、五、ヶ、回、合、派、を、提、案、す、其、の、成、行、想、像、不、可  
成、也、日、本、報、東、港、着、英、國、送、直、訳、を、命、先、す  
長、崎、系、上、高、井、部、小、布、施、打、市、村、（一）、右、東、の、も、細、を  
列、す、此、人、前、島、田、の、業、所、家、と、前、島、榎、本、の、字、と、を







子と来出四月計病臥を報し来ふ、マツサージを  
受く、大改活を陽次郎の刊刊。

七日

晴、朝来放尿を来す、川合龜火中の為山陽岸路  
屋の書福の匣、此の窓す、小野安子、返書を投す、庭  
園秋菊満ち、萩見蓼花紅を色ふ、後園の芋肥内  
時、振つて公らふ一快也、午後マツサージを受く、木山又追々  
雨如、ハモ、大法十法聖来午、搬入此價六十一圓也  
拂論、渡田園社、浪鏡花死去、随筆、校正摺五十

五

頁刊す。

八日

晴、相来随筆の校正をマツサージ、小序と共に寄出、而  
市付方、投す、然原印一稿士還曆を此に添ふ、為め其全  
集出版の本可、余と所感を寄す、とを需め、一文を  
し、投す、午後マツサージを受く、政河初子、初改  
り、来未、此紙、氣を、濁りの為め、電力減し、節行令  
出、の十日、この間、断、市電、影、録、音、を、あ、り、本、を、あ、り  
る也



九日

昨隨筆の校正指三百頁迄別未直す一校して返  
り市村宏に投簡波都ワルハ臨為と傳ふ午後ツ  
州しこも行く縣白去来後務所至り如地銀所加税の徴  
票列し日本邦紅言ある義市村宏しし身簡

十日

日

相未縣而列し市村宏に投簡地筆校し四百四十八頁  
と最後の校正を需め来り地筆一校り市山房へ郵送  
り二百廿日の氣配と一七風や強し鈴木鹿次身  
訪後合別在地長印の市七柳澤まマツサレ

長原

去八四日と打ちり料金八圓折一夜未大暴

雪降り雷鳴る城夜多欝濁る道途飲好如信南送

十一日

月書

昨中律事相未新紙と書し市山房へ返す  
下サレ八日と傳りなを一向致験る是地と右筆  
碩満依然り地筆の處り是書と書し市山房へ  
投簡金の地筆初め好から三百頁と封書  
えんをうりて節稿忘干を加くるを組上かると  
と五百頁も致り頁数の封書甚だ杜撰多し



折角位了りしを以て陰く思ひます、僅くも重積  
の稿二命と不安の一命を削除す

十二日

二百二十〇

真凡小信也、物ワルニヤウを施託するも、波軍義  
戰未だ板く然り、或の機橋より市街、敵を以ん  
鴨、長崎、敵を完脱し、たがし、平、正、敵を所圍維  
持、十四年、度、合、二十日、納、付、高、山、廣、志、士、邊、界、の  
攻、列、を、あ、ま、つ、き、所、徳、の、又、を、需、め、ら、ん、草、卒、稿、を  
作、二、時、頃、地、を、得、ち、支、那、派、遣、三、日、入、る、旨、を、函、に、

藤原

教育に監か任する、老練法、其、前任、校、長、が、任、する、に、江、北、銀、の  
活躍、も、大、く、お、よ、ろ、う、と、思、は、れ、り、

十三日

所、新、内、閣、改、組、を、お、表、す、江、新、政、権、を、援、助、し、進、意  
を、示、す、が、對、支、の、主、要、な、方、針、は、あ、る、者、相、の、権、限、を、特、化  
す、る、も、新、方、針、は、あ、る、海、軍、を、平、均、化、す、り、以、て、血、を  
を、捨、つ、事、業、を、お、し、柔、化、を、要、し、し、學、業、と、せ、ら、れ、と、秘  
の、こ、ろ、足、底、を、お、し、あ、ら、わ、り、を、生、じ、て、入、り、お、し、あ、ら、わ、り、の、こ  
ろ、に、お、し、あ、ら、わ、り、と、思、は、れ、り、



十四日

晴、向也、合、海軍の授、日、二、三、百、と、刊、東、海、軍、の、  
一、校、と、返、す、證、券、其、他、計、算、に、関、す、書、類、を、整、理、す、  
和、波、の、親、戚、後、其、等、ワ、シ、ワ、の、臨、海、也、し、波、の、海、港、が、テ  
ニ、ア、海、軍、と、傳、ふ、其、の、降、伏、の、日、市、長、等、百、名、人、質、に、取、  
ら、し、波、の、副、首、相、逃、亡、を、偽、り、英、軍、に、知、れ、し、敵、隊、に、交、り、

十五日

晴、終、末、鹿、次、に、落、合、別、在、地、の、地、圖、を、郵、送、す、  
田、中、大、佐、長、に、見、舞、ハ、ル、地、方、近、信、の、電、

棟原製

氣、節、的、の、勅、諭、書、利、々、時、向、報、誌、を、授、ん、か、時、と、移、  
夫、揮、毫、の、歎、一、紙、送、る、事、も、甚、矣、

十六日

晴、凡、向、山、屋、も、後、等、一、校、直、ち、入、  
込、ま、全、ち、向、任、支、隊、全、引、去、す、日、ノ、停、戦、戦、の、協、議、  
成、り、の、事、也、罪、を、出、づ、及、合、別、在、店、根、伏、候、身、人、  
十五、日、拂、休、給、料、作、く、物、を、賜、ふ、

十七日

日



時、日ソノ任戦場ニ突然ノ事ヲ告ガリ感セシメ  
カ、新内閣ニ告グル一幸也、市會以府ノ粮収思ハ  
シ、中山房ニ隨テ、校ニ招、最後モ五六日  
ノ事ヲ、校ニテ投リ、中山房ニ告グル一幸也、  
軍ニ出、四五日ヲ示シ、亦今ノ日、  
附屬ノ宣傳ノ稿ヲ交付ス、  
リ、先作倫ニ授ク、午後保存ト云フ事  
類ノ救心理、時ヲ身ス、四時ニ懸ル列ス

十八日

横濱製

朝雨、多ク眼ノ涙卷テ、  
の時、眼ノ涙卷テ、  
ノは日本と傳教ナリト共ニ、波ノ白雲人ヲ救援スル  
トシ、大軍ト波ニ進出スルノ事、  
モ、  
列國モ此等ノ事、  
方、  
也



十九日

昨日朝完報後、越人台湾に赴けるを極一かを  
引上禁正令発動。宇全甲海と、状製夜の品  
を路、未の生方、印も耳、出日の全の著、山陽  
より、材の、後を、了、未の、夜、未、雨

二十日

雨、宇全甲海、未の、生方、印も耳、出日の全の著、山陽

横原製

報、宇全甲海、未の、生方、印も耳、出日の全の著、山陽  
雨、宇全甲海、未の、生方、印も耳、出日の全の著、山陽  
雨、宇全甲海、未の、生方、印も耳、出日の全の著、山陽

二十一日

彼岸入

今朝、雨の後、雲の、大に、こ、る、の、耳、後、報、後、と、善、く、也、  
新、の、見、も、未、尚、服、部、耕、石、杯、泳、春、五、去、及、今、宇  
田、川、の、野、舟、来、と、善、の、也、未、也、夜、未、終、也

二十二日



雨、昨夜の雨を以て水漲り、高水ありて余の地著也  
公、うきまき、春まき、冬まき、杉、松、と昔より、杉、松、栗、榎、  
栗、柏、一、函、利、来、大、橋、田、の、故、く、飯、敷、を、立、つ、り、ま、り、  
柵、柵、旬、百、一、つ、り、ま、り、と、死、去、

廿三日

海、服、部、畔、石、瓦、と、つ、き、平、杖、と、考、典、と、考、り、大、難  
外、と、筆、ま、り、乃、先、ま、り、来、出、定、と、今、夜、泊、ま、り、電  
信、列、の、地、後、野、村、深、次、郎、と、栗、柏、列、来、定、九、時、物、在  
名、日、三、部、助、死、去、

榎原製

廿四日

日

時、鼓、浪、燃、事、件、解、決、即、打、去、三、つ、大、軒、(考、分、次、長) 外、相、位  
夫、波、筒、柵、の、向、の、合、割、と、ま、り、野、菜、利、来、清、字、例  
即、来、代、四、月、の、新、得、籠、の、施、飯、と、野、菜、利、来、清、字、例  
の、政、治、的、の、積、込、と、清、字、例、何、れ、在、り、ゆ、満、洲、看、望、部、林  
中、高、者、に、任、て、し、ん、た、り、に、付、告、出、り、為、事、也、田、中、健、後、に、投  
眉、元、来、願、也

廿五日

時、田、中、健、後、伊、勢、修、成、り、来、去、山、田、河、心、と、隨、著、也、















田和男多うおとせり、柳般懶懶未信は夏尾の印  
刺三顆を托し、船法を交へてある、小書山帖一冊、松葉  
早大とて、作おる、誦讀の改選の法果を報し、春の中  
明心入りて死去、小幡前帝長死す

三日

時相来報を事す、ゆふ久寛とて、望む所、其の  
所みくし、未出平、梨果、お利来、夜来、少高首  
お日比谷で、鏡後の道を通く、

四日

時丹吳、京平、よみ、時、時と、鈴木鹿次、可、給

棟原製

て、地、一、五、け、こ、の、合、め、在、地、是、印、の、件、こ、つ、て、價、格  
の、事、を、海、邊、へ、て、ある、休、局、田、保、生、と、て、未、出、人  
柳、後、若、形、新、聞、谷、和、字、下、切、の、人、を、こ、才、墨、次、と  
も、差、入、る、信、何、所、形、了、終、の、字、を、白、紙、今、あ、る、と  
留、ま、を、め、北、條、生、の、信、り、あ、す、の、當、好、の、由、こ、て、海  
と、ま、入、の、年、月、の、説、す、三、四、年、也、辰、田、村、在、任、の  
時、の、海、邊、と、て、今、あ、る、も、今、く、無、関、係、を、何、も、あ、る  
所、へ、清、野、赤、城、邊、星、子、川、流、定、景、大、意、と、丹  
吳、に、贈、る、



五日

明後上未終、深山寺三時、山陽行方記に  
出雲、龍舟をきく、南谷、其後をすむ、其の世  
酒造と録して開ききく、夕刻、後益の驟雨あり、  
夢谷寺も、靈境法をすく、今入、目録をす、  
その昔、量敷二十餘の日記をす、代上、改刻をす、

六日

陰、住友、舟、龍舟、金、百五十日、月、出、家用、三、え、龍舟、と、す、  
山、無、空、三、く、小、船、の、か、ら、ず、し、と、録、す、未、く、無、聊、酒、口、法、

棟原製

を、録、す、未、く、五、方、道、形、す、く、空、の、お、と、雲、の、お、も、の、こ、こ、う、と、う、  
し、園、合、し、和、平、を、從、く、日、本、郵、り、の、太、西、洋、と、與、る、  
和、政、外、務、者、事、務、及、野、動、未、終、勢、く、む、く、か、

七日

明、今、初、楠、瀬、の、年、月、江、前、の、信、長、の、身、卷、の、三、點、印、刻、  
成、り、午、時、迄、日、付、自、動、金、一、を、紀、上、と、行、の、四、月、下、旬、為、所、  
以、来、初、め、の、外、出、也、昔、々、を、こ、洋、舟、と、喚、び、船、の、出、産、と、  
船、法、と、録、す、と、物、く、く、山、武、人、の、録、と、き、き、き、く、船、を、  
言、杜、也、一、船、舟、と、中、の、舟、の、く、く、く、く、一、所、法、指、是、也、



選書録と墨書

八日

日

此頃より法政の便格に因り奉公令らしし命敷地を毛を喰し  
来り、市橋より年々外務省に更なるゴク、未決断で  
此上藤沢の川沿日田郡百三連(了)河中の遊戯場

九日

此頃早大と大島幹子とを遊ばせり五十回切手を  
贈り、妻の宛に日年の刻印と文を、勤王奉公令

榎原製

の為敷函二枚押毛龜山葉三に付、丹去し、栗一  
函と空のせり、東亞<sup>雑誌</sup>池の為め書と個性の二冊を  
著作、芝谷芳彦(親二南部見)外務省官吏の  
撰るつゝ、日本郵羅馬とありき。

十日

陰、大島とるし、金丸の刻印、川末、平丸園と余り、又  
主録載り、<sup>現</sup>和文章軌範を送り、来り、芝谷の  
福平、日法、三川の坊、金隆、来訪、新島と著作、村山  
秋浦、梓書、高島、印代、甲、丑、日、哲、来、領、牧、所、得、税、府



市税徴票列、松山園若のの松張、山陽の書、就この  
寄符と伝教、子、東進言迄、行、此、未、邦、輸、り、物、也  
刊、也、

十一日

明山の馬、尾、身、切、余、の、隨、筆、印、刷、良、に、成、り、可、合、の  
佐、物、を、用、紙、を、得、り、結、り、未、月、に、到、り、余、の、書、本、及  
り、難、し、敷、す、其、所、代、抄、松、に、押、毫、海、印、を、珍、く、  
度、難、の、紙、を、と、松、葉、と、物、り、未、の、今、日、病、床、を、撤、す、  
甲、斐、啓、是、ら、余、の、押、毫、を、對、し、洲、出、刊、の、夜、未

榎原製

る

十二日

兩、坂、井、新、三、中、城、信、者、士、報、存、版、の、序、と、結、成、儀  
一、且、つ、押、毫、の、額、字、と、其、の、代、印、紙、と、書、す、夫、小  
品、を、報、理、と、時、を、費、す、中、村、進、十、七、日、祝、賀、三、寸、寄  
附、書、某、の、勸、誘、状、刊、り、廣、瀬、の、贈、入、物、と、贈、り、

十三日

明、出版、部、の、東、洋、重、刊、印、高、集、又、原、に、二、十、四、切、字、刊  
美、坂、井、以、三、中、の、為、紙、信、者、士、報、り、序、文、を、書、き、し、好、日、時、



東に日動連より送すの申渡書等に依りて  
此の事あるは後にも上田藩に入  
十田藩の御金に入し外務省の  
て解決、政府の留り難い事  
御入す

十四日

頃今朝御金も其父曰何女中一人着便利  
金句集の複製本到来、伊達家の  
御支丹殿より利上り回数  
山陽の書に就て一稿を著し  
如ふ、雜誌書之友の囑

標原製

二君より人の囑、應一山陽墨蹟  
為點、題答と書す

十五日

日

頃、唯山園の文和と書す、  
此の事あるは後にも上田藩に入  
十田藩の御金に入し外務省の  
て解決、政府の留り難い事  
御入す

十六日







本志を重振しつゝ其の地味の新と葎を刈り掃き骨  
華を整理し其日を専ら、馬又英大使將成るに和平  
を勸むと新多政に頼す、英艦隊を獨り海を艦  
日敷子沈の厄に意に

十九日

時根太あけ工番に大工仕事仰来り等の如し  
将とも發行せんとす余の地甚りの標代表を  
自買し富山房に送ふ来日演劇場物館、余の是品  
内外の俗貨物をも店に供せんし百餘を檢出

榎原製

見と一冊の丹つとも、年足自在を缺き、面削去し、

二十日

時、多摩野に歸、四神社御祝程、世界一由の東宗日  
新多社の飛行機日本舞臺切今日日本、帰途、場田義一  
車前男物を贈る、陸羽品換出の時を専ら、麻芥目録  
と此の如く、新多野松鏡二つ、空米の味噌法を考へて見よ、

二十一日

時、同會一旅を以て大心の近基を考へて、山の山を











而收る。任友預金四万五千円生し、月去家用三万の  
金手報来る午後三時迄、すべて陸列島大小全部取調く  
目録了。終る先考、部小品鳥獸群六十九點、小書畫十二  
點外、相小相并小品骨董十數点、目録り全部引渡す。前々  
未披露中の埃原大像七漸やく発見、バンドールと共にこの  
引渡し高女、陸列島習●吾が町所迄盛んして、煤粉のたす  
まこの、半の努力の爲め、夜々午後四時、予の寄附書  
と個性の問題とを収り、了東並書道、新の利三、小室  
由子と、美ら子出、福日、閑し、未の間、早大井、蓮の、合  
了、未出、島山、年三の、爲、何の、有、遠、志、協、の、運、留、の、書

榎原表

了、明、道、大、加、協、士、三、行、揮、毫、を、托、せん、難、然、を、賜、ら、る、早  
大、の、氏、家、通、書、の、死、去、

二十八日

時、防、宣、漢、習、の、い、り、山、田、海、能、日、派、然、の、一、稿、を、寄、り、政  
界、社、社、子、六、寄、り、す、森、昭、美、村、も、甲、物、菊、田、を、寄、り、せ  
る、と、小、増、の、あ、子、に、送、荷、と、投、入、大、賀、保、士、の、囀、を、互、に、毛  
紙、に、押、印、を、兼、森、陽、に、送、出、を、妻、が、す、深、夜、飛、行、機、翔、け、さ、い  
し、ん、志、ま、り、の、夢、こ、の、防、宣、訓、練、の、衝、を、當、り、よ、く、徹、夜、の  
夢想、の、こ、し











房出候古田方々之判唐、讀受あり社新築成り、東  
内物列ふ、小北屋三耳流、島山書三頼家の幅三  
點、右方を流し、即ち書す、鈴木鹿次、簡方、後  
合、山花井戸、留敷、七田、五十八、氣仕、排、新、河、坂、口、献、書  
と、し、果、去、五、卷、三、十、七、回、忌、法、安、の、供、物、と、云、方、を、耳  
云、

四日

晴、朝、日、出、候、と、云、余、の、造、事、と、云、心、き、所、家、と、云、日  
右、右、を、録、一、山、山、房、に、其、書、返、と、他、此、方、未、成、候、事、を、  
併、て、五、十、一、家、也、大、勢、一、斤、鉄、木、鹿、次、に、伺、了、小、野

榎原製

田、五、武、(、羽、湯、) の、小、傳、と、曰、入、洋、書、幅、の、新、築、  
と、題、す、羽、湯、の、司、馬、に、撰、書、先、た、う、秋、田、の、洋、書、  
家、を、う、白、動、車、一、月、と、記、望、と、赴、き、西、洋、抄、取、  
と、喫、一、と、仰、ふ、一、二、枚、七、持、春、改、刻、傳、の、所、列、候、  
と、し、追、加、條、列、を、為、す、物、書、法、流、を、云、為、二、平、一、日、候、  
防、室、用、天、の、桶、出、東、北、傳、十、三、回、也

五日

日

晴、晴、回、割、當、之、合、の、理、を、合、に、於、て、予、今、長、年、候、  
鈴木鹿次、馬、込、う、り、と、別、在、地、是、切、件、不、同、し、協、議、す、重



極三男信時よりき光七郎序をてりて久田輝成の  
江戸外より来るく、後、鈴木も別荘比國戻り来  
る、石炭七俵購入、後、新多比、す、す、す

六日

晴、任友預金三万圓引出す、坂口五、峯十七、田忌、香  
を送る、山田、徳心、馬、野、野、和田、若、去、未、さ、人、月、加、好、平  
伯、三、可、給、名、利、を、與、ふ、所、得、税、四、十、五、圓、納、付、漏  
可、成、一、三、馬、也、五、三、三、三、難、取、を、善、く、す、坂、口、獻  
吉、一、投、向、戦、時、食、糧、對、策、と、て、米、日、最、高、價、格

榎原製

七五圓引上り三十八圓と云ふ迄と云ふ

七日

晴、ぬ、雨、の、寒、一、定、所、迄、自、動、車、に、七、五、圓、三、行、き、二、三、十  
を、購、入、せ、り、其、高、き、一、百、一、十、円、の、米、也、一、七、小、回、者  
次、午、の、近、馬、日、本、高、前、進、は、後、々、多、利、に、與、十、日、回  
考、察、の、為、に、内、列、の、岳、禁、に、近、所、所、回、後、考、を、行、ふ、と、思、ふ  
と、亦、深、く、考、察、せ、し、一、回、津、に、向、か、つ、と、思、ふ

八日

五日























別、た入り醫治井田保を伴ふゆ子の病は甚と治す  
恒況はるるし治玉別り十二月三日大隈公府より  
橋土小祥の家へ頼る。十二月廿日の恒況橋土小祥、秋  
賀入りの書の内状あり。

二十一日

時、園丁ニある大に病入る治法はあらず  
山陽方病を高くしある。館定を改む。佐伯叔作  
ニ男は病うつきの十日懸る即ち手と繋り流るし  
づ併す。香を焚く重梅の湯二三紙押是れ大に

藤原

の碑白果し押是れを懸る。聚樂社の秋葉啓り  
中を病うつ病す。日指も木末米の病うつきさす。阿保  
取候より治す。病うつきの米を宮治はらふとまを  
糸上籠のきし。米病うつ不能の病うつを報にまを

二十二日

墨元日本郵船照四九其京沖るも枝雪と筋沈致葉  
但久無事。揚言より病の世病多事最病。蟻姑か台  
湾市極是も支那の給法にへも長前刻るゆ子七  
病葉より病。折病づとまはる。家の手係とせらる















三十日

晴、日本郵船会社より本義株(十)の配当来る、本朝八  
分二十日也、佐橋と分税金九十二日陸納付了、此日  
神日針習文とあり、月三仕拂等、混雑を極む、夜  
佐伯方の伝燈技師等、芝を出入りし、夜間五  
川の伝燈は炎と煙の河を流す、夜間五山の二本  
を特に果燈をとり、寺の元重も流す、此の夜  
は、佐橋の船より火災、倉持の船も、芥子の開  
戦を極む、

標原製

〇 十一月

一日

晴、本日解着船全、千二百の期満り、さあ、十一月  
八日、高柳殿三回、の領事、此日、長新在の挨拶、此日、  
先時、金、五、十、日、並、酒、井、中、等、も、三、五、互、に、長、新、  
此日、佐七、開、合、の、石、川、伝、通、り、年、に、長、新、合、と、出、立、り、  
客船の伝通、長新、殿、者、大、傳、酒、井、中、等、も、共、小、合、考、れ、  
さ、さ、返、り、物、さ、さ、井、田、中、等、の、伝、即、別、伝、合、十八、日、  
此、伝、合、十二、の、開、合、の、事、也、此、日、



二日

今朝来程...印刷...  
...午後...針...  
...

香以後  
印刷











